



まちの

わだい



訓子府小学校児童の少年野球チーム「KL野球少年団」(KL球友)が、5月の全道少年兼全日本軟式野球大会北見支部予選で準優勝となり、7月18日から富良野市で開かれる北北海道大会に出場することになりました。

KL球友は、1回戦から準々決勝まで大差で勝ち、準決勝は10-9と接戦をものにしましたが、決勝では9-12で惜しくも敗れ、準優勝となりました。北大会に出場するのは、8年ぶりということで、宍戸駿斗キャプテンは「北大会優勝をめざします」と力強く話していました。

KL野球少年団 8年ぶり 北北海道大会へ



**共同利用
模範牧場**

町共同利用模範牧場の一斉入牧が、5月27日から30日まで行われました。朝から多数の乳牛、肉牛が、トラックに揺られ牧場入り。町外を含めて767頭の牛が広々とした牧場に放され、のんびりと草を食べていました。



767頭が入牧

温水プール「KAPPA」 利用50万人突破



温水プール「KAPPA」が平成7年にオープンしてからの利用者が、6月21日に50万人を突破しました。

前日の20日で、50万人まであと38人に迫っていました。記念の利用者となったのは、北見市の教員、森下 博さんの長女、希乃さん(8歳、北見美山小3年、写真右端)。希乃さんは家族4人で、泳ぎの練習のためプールを訪れました。

50万人目に「びっくりした」と驚いていましたが、大好きなイチゴなどがはいた特産品をプレゼントされ、にっこりしていました。

プールでは、50万人を記念して町内小中学生全員に1回無料券を配布しました。

図書館から 新しい本が入りました

ぼくんに、
マツイヒデキ!?

飯野 和好/絵

絵本



雨の日、テレビで大リーグの試合をみていたら、とつぜん、マツイヒデキ選手がテレビのなかからとびだしてきちゃった!

市民が財政白書をつくったら…

大和田一紘/編

一般書



著者による講座「市町村財政分析」で学んだ市民が「手づくり財政白書」を作成しました。その醍醐味とつくりかたを教えます。

裁くのは僕たちだ

水原 秀策/著

小説



ごく普通の勤め人・高尾慎一が裁判員に選任された。裁判員制度にほんろうされる一市民の奮闘を描く、ハードボイルド+法廷ミステリー。

まちのわだい



町では、この連携協定より先の5月に北大・酪農学園大・帯広畜産大の3大学で構成する「地域拠点型農業エクステンションセンター」と連携協定を締結しました。これがきっかけとなり、北大との独自の提携をしたものです。

このセンターの地域拠点となる「訓子府サテライト」も6月9日JAきたみらい訓子府地区事務所内に設置され、研究員一人が常駐しています。(研究員の横顔は、12ページ「いきいき」で紹介しています)

町は、6月9日に北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部との連携協定書に調印しました。この連携協定は、戦略的連携支援事業の一環で、町と北大相互発展のために、学術・地域振興・文化・教育の分野で協力するものです。農業技術研究や農村資源の活用、人的交流・人材育成などを連携して行います。

協定調印式は、役場で行われ、同大学院農学研究院の上田一郎院長と菊池町長が協定書に署名し締結をしました。協定の期間は3年間で、具体的な事業計画は今後策定します。

町と北大が連携協定書に調印

訓子府農業の振興へ連携

みんながんばったよ!!

小学校・中学校で運動会

一生懸命走ったよ!今年の運動会は、訓子府中学校が6月6日、訓子府小学校と居武士小学校が6月14日にそれぞれ開かれました。

徒競走をはじめ、玉入れや綱引き、趣向を凝らした競技などが繰り広げられ、子どもたちの力いっぱい動きに父母などから盛んに声援が飛んでいました。



訓子府中学校



訓子府小学校

居武士小学校



雨の中でもにぎわった 芝桜まつり

「第13回芝桜まつりinくねっぶ」が6月7日、レクリエーション公園で開かれました。あいにくの雨で、芝桜の見ごろも終盤でしたが町内外から大勢の方が訪れ、焼き肉を食べながら、太鼓演奏などを楽しましました。



ご寄贈ありがとうございます

訓子府貨物輸送(株)・訓子府機械工業(株)・訓子府石灰工業(株)

3社からテントを

訓子府貨物輸送(株)(富山信雄社長)・訓子府機械工業(株)(松田和之社長)・訓子府石灰工業(株)(畦田文博社長)の3社から23日、イベント用テント各社7張の寄贈がありました。

3社では、これまでイベント用テントが不足していたことから、今年30回の節目を迎えることを記念して寄贈されました。

